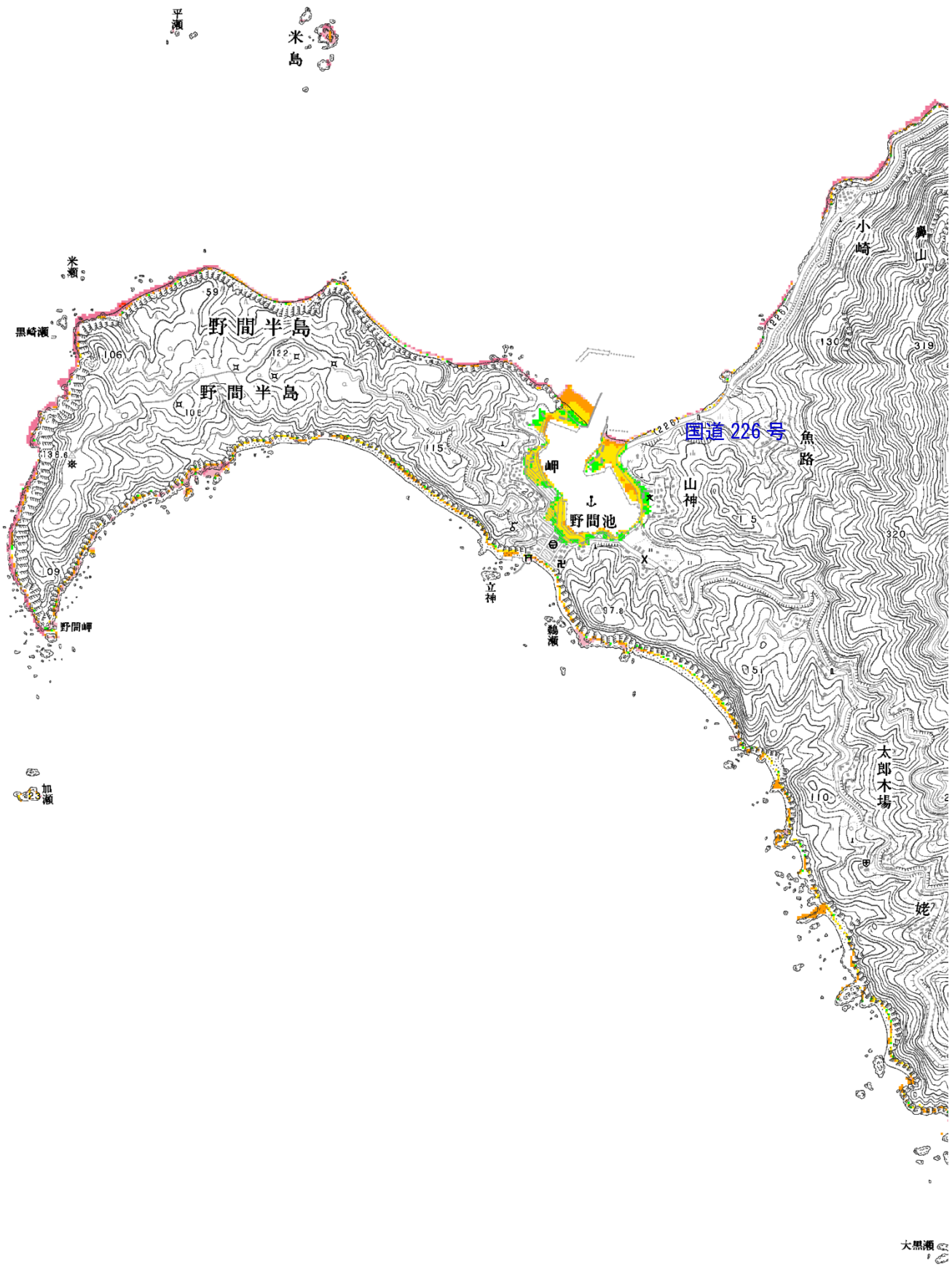
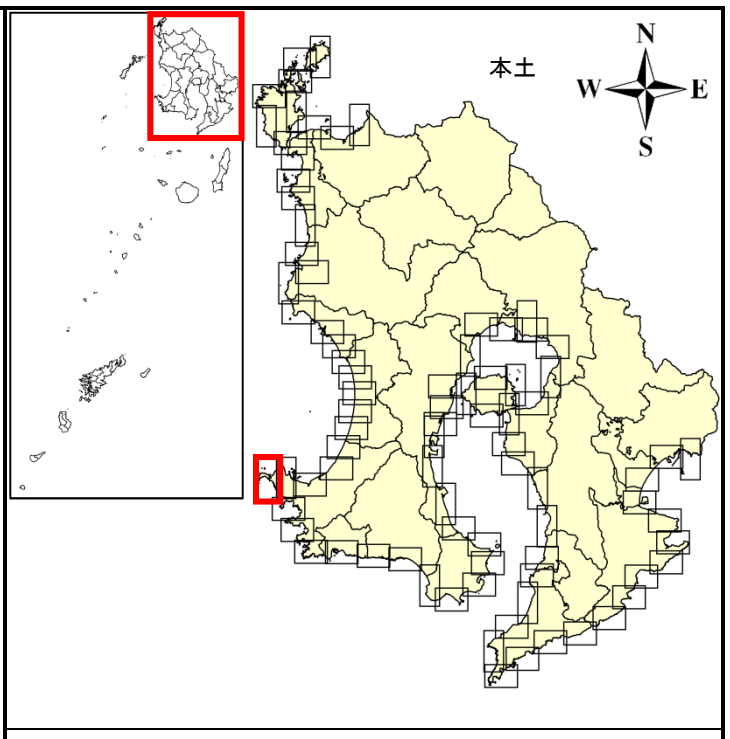
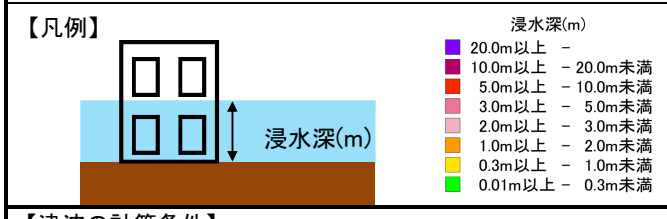
鹿児島県津波浸水想定　　市町村別　南さつま市　（０４１／２０９）

市町村名	南さつま市　笠沙町片浦
津波到達時間	21分
最高津波水位	T.P.+7.3m

※表示した南さつま市笠沙町片浦の津波到達時間は、甑島列島東方沖を波源とする津波の到達時間を示しています。
※津波到達時間は，過去に発生した津波や今後発生が想定される津波のうち，当該市町村の最高水位の津波について設定したものであり，初期潮位から+20cmに達した時間を表示していますが，これよりも短時間で到達する津波が発生する可能性がないというものではありません。



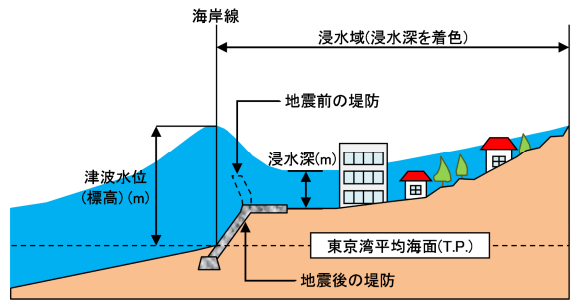




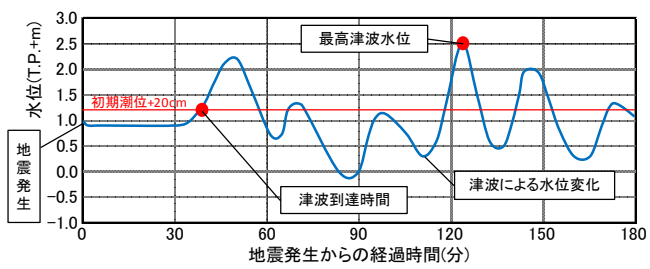
【津波の計算条件】
○初期潮位：朔望平均満潮位
○堤防条件：１００％沈下（地震発生と同時に堤防なし）

【留意事項】
○「津波浸水想定」は，津波防災地域づくりに関する法律（平成２３年法律第１２３号）第８条第１項に基づいて設定するもので，津波防災地域づくりを推進するための基礎となるものです。
○「津波浸水想定」は，最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水域と浸水深を表したものです。
○最大クラスの津波は，現在の科学的知見を基に，過去に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり，これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
○浸水域や浸水深は，局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか，地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により，浸水域外でも浸水が発生したり，浸水深がさらに深くなったりする場合があります。
○浸水域や浸水深は，避難を中心とした津波防災対策を推進するためのものであり，津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。
○津波は繰り返し襲ってきて，あとから来る津波の方が大きくなることがあるため，浸水域や浸水深は，津波の第一波ではなく第二波以降に最大となる場所もあります。
○「津波浸水想定」では，津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが，津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
○「津波浸水想定」は，想定される複数の地震による津波の最大の浸水域，浸水深を表示しており，平成２５年３月に公表した「浸水想定図」と一部（肝属川河口付近）を除き同じです。
○今後，最新の知見や精査等により，「津波浸水想定」を修正する可能性があります。

【「津波浸水想定」の用語の解説】
○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高くなったときの水面から地面までの深さ



○津波到達時間：海岸線において初期潮位から＋２０ｃｍの変化が生じるまでの時間
○最高津波水位：海岸線における津波水位の最大値（標高）



縮尺：1/25,000

0　1　2km

○この地図は，国土地理院長の承認を得て，同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平 25 情複、　第 891 号）
○この地図を複製・使用する場合は，国土地理院の長の承認を得なければなりません。

平成２６年９月作成